



仙高の風

令和元年 10月 23日発行 第7号

3の1後ろ黑板



前期終了 終業式で校長からのメッセージ▼今日は「価値」というものをどう測るかということについてスポーツを例に話したいと思います。▼ラグビーワールドカップ、日本が優勝候補のアイ



ルランドを破った。どんなこともあり得ると強く思いました。改めて一人の力ではどうにもならないことが、力を合わせるということで、不可能とされていることを可能にするんだということを感じさせてくれる試合でした。可能性を信じていくことが正しいんだということを見せてくれたことに深く感謝をします。そして多くの勇気をいただきましたし、選手に、私たちが応援をいただいているというスポーツの醍醐味も感じました。▼現在、水戸市で開かれている国体で、宮城県選抜として出場しているラグビー一部3年の末永君が、昨日の1回戦に出場し、見事勝利。ベスト8入りを果たしました。(生徒達から大きな拍手が沸き起こりました)▼勇気というのは、私たちの身近なクラスメイトからももらっているんだということです。▼バスケットボールの話をして。(NBA入りで話題の八村塁君の話)ドラフト一巡目に決まるなどは夢のまた夢でした。年俸で年間5億円とも言われています。そこで「価値」ということで考えてみました。▼スポーツ選手やアーティスト等の価値というのは年収や売り上げで測ることが多いのですが、我々一般の社会は、収入がその人間の価値を判断する基準になっているかといえば、そうはいえないと思う。八村君の年俸には、人々がそこに夢を見て、そこから元気をもらうということへの投資の意があるのではないかと。そしてスポーツを観ている側の私たち側は、選手から応援をもらっているということじゃないだろうか。▼改めて私たち自身については、トータルすればプラス・マイナスゼロで全然構わない。1プラスじゃなくても0で構わない。もちろん、人間誰しもマイナスの面がある。けどもそれぞれ皆さんのプラスの面がとても大事で、そのプラスがきっと誰かを励ましていることが、すごく大切だと思う。今日学校で会えた、君がいてくれた、君がこんな風に声をかけてくれたなど、そういう風に思ってくれる人がいるということで十分な価値なんじゃないだろうか。

教務部長より◆明日から後期。時間割が変わるし教室が変わるし担当の先生が替わります。

◆3年生諸君。いよいよこれからのことを決めていく大事な時。大学や就職に合格がゴールではない。その先があるということをお忘れしないで欲しい。受験は団体戦といわれる。その本当の意味を理解して毎日生活できるかどうか。真価が問われる残りの半年です。◆2年生諸君。4



式に先立って行われた表彰式



月からクラスで準備してきた研修旅行もいよいよ近づいてきます。その間に後期I考査。一つも手を抜かずベストを尽くして成果を上げて欲しい。◆1年生諸君。入学して半年が経ちました。Phoenix(フェニックス)ゼミを中心にして、これからの長い皆の将来を考えていく時間、有効に使っていますか。本校は自分の将来をじっくり考える時間がある。ただじっくり考えることと先送りしてしまうことは違います。様々な進路学習を通じて、自分のこれからの人生をしっかりと考える、そういう半年であって欲しいと思います。

★ラグビー部3年末永天さん 国体出場！

ラグビー部末永天さん(3年)が、東北総体を勝ち抜き、「いきいき茨城ゆめ国体ラグビー競技少年の部」に出場。第7位となりました。今回は、宮城県選抜選手としての出場です。「ボールを持って前に進むことができ、全国レベルでも通用するという自信を持ちました。スクラムは押される場面があり悔しかったです。この貴重な経験をさせていただいた関係する皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。」(本人談)



速報 ソフト部県新人大会で第3位！

第67回宮城県高等学校新人ソフトボール大会は、県内34チームが参加して行われました。第三シードの本校は、初戦名取高に12対0で快勝、2回戦仙台西高にも10対0、3回戦宮城一高とは10対3で勝利し、順当に勝ち上がり、準決勝に駒を進めました。準決勝の相手は第二シードの常盤木高。



勝てば新人大会では初の東北大会出場でしたが、残念ながら一歩及ばず、2対11で敗退しました。是非来春に向けて頑張ってくださいと思います。

★文芸部 北海道・東北文芸大会へ

10月18・19日、北海道函館で開催された第21回北海道・東北文芸大会に橋本さくらさん(2年)と志摩海友さん(1年)が参加しました。昨年度の宮城県文芸作品コンクール短歌部門、部誌部門それぞれで入賞したことが宮城県高等学校文化連盟文芸専門部から評価、推薦されました。

★国際理解ホームルーム交流会を1学年で開催

10月16日、県内在住の外国人8名を講師に招き、交流会を開催しました。今回は特に英語文化圏以外の国や地域への関心を深める目的で開催しました。講師はブラジル・中国・韓国・ラオス・アルメニア・ルーマニア・台湾・カザフスタン出身の方々に、母国語での自己紹介やお国事情、生活習慣など、初めて見聞きする文化に生徒達は時折歓声を上げながら、大変有意義な時間を過ごしました。～講師の皆さま、ありがとうございました～



★「交通安全研修会」が行われました

10月2日、7時間目、仙台北警察署交通課から講師をお招きし、交通講話をいただきました。



今回は「自転車事故はなぜ起こったか」と題し、レッドカードの実物を見せていただいたり、実際にあった事故などの話の他、DVDの映像を使って大変詳しくお話いただきました。生徒諸君も自分たちにも起きうる身近な事として真剣に参加していました。写真は交通安全対策委員会委員長の木下北都さん(3年)と副委員長の淀川莉莉羽さん(3年)

★「秋のマナーアップキャンペーン」に参加しました



春秋の二度実施されるJR乗車マナーアップキャンペーンに本校生徒会執行部員が参加しました。元気に挨拶をしながらティッシュを配り、駅を利用する皆さんにマナーアップを呼びかけました。また、本校の交通安全対策委員の皆さんも、校門や通学路で挨拶を交わしながら、交通安全マナーアップと交通事故予防の呼びかけを行いました。

★地域防災訓練が貝ヶ森体育館で行われました

10月6日、貝ヶ森2地区町内会の防災訓練が、貝ヶ森体育館、グラウンドで開催されました。計画的な準備のもと、消火訓練、地震体験訓練、避難所生活体験訓練、避難所給食体験が行われ、参加された地域の皆さんは、真剣に取り組んでいました。



★新聞全国版に写真が採用されました!

「声Voiceオピニオン&フォーラム(朝日新聞全国版)」に高橋由惟さん(3年)の写真が掲載されました。(掲載された高橋さんにインタビューしました)「動物の写真をよく撮られるそうですが、自身のテーマに動物を多く選ぶ理由は何ですか?」「私や祖父母が動物を飼っていることもあり、動物が好きだというのが一番の理由です。自分の大好きな動物を撮っているときが一番楽しいです。」「これからどんな写真を撮ってみたいですか?」「私は去年の10月に愛犬を亡くしましたが、その時に改めて写真の大切さを強く感じました。私は自分が撮りたいと思ったもの、自分の好きなもの、日々の何気ない写真を大切に撮っていきたいです。」折しも掲載された日は動物愛護週間でした。 **忍しのび**



★芸術鑑賞会を開催 於仙市民会館

令和元年度は古典芸能。『笑点』でおなじみの三遊亭好楽さん等をお招きし、日本の伝統文化「落語」を鑑賞しました。数名の生徒が実際に座布団に座り、扇子を箸に見立てて食する場面もあり、全校生徒が笑いに包まれました。



★みやぎ高校PTAフェスティバルの運営を担当

10月10日、みやぎ高校PTAフェスティバル2019が太白区文化センター(楽楽楽ホール)を会場に、各高校から300人超の参加を得て開催されました。



昨年引き続き本校PTAは事務局を担当し、49名のスタッフで運営に当たりました。アマチュア講師村上陸奥之介さんの講談、「講談で知る宮城の人物 大槻文彦一言葉の海へ」、本校ダンス部によるダンス披露のアトラクション、

仙台白百合学園女子大教授 氏家靖浩さんによる講話『わが子の「プライド」にどう向き合うか』、パネルディスカッション「これからのPTA活動」など各種演目が行われ、どれも充実したものになりました。このフェスでの経験を生かし、これからのPTA活動もより良いものにして生徒のために尽力していきたいと思っております。ご参加くださった皆様、並びに運営にあたった皆様、ありがとうございました。



〒981-8502 仙台市青葉区国見6-52-1 Tel 022-271-4471

Fax022-271-1136 URLhttp://www.sendai-c.ed.jp/~sendaihs/

担当:主幹教諭 板橋俊文

『仙高の風』バックナンバーはホームページからもご覧いただけます